yz002003	伝統行事　鬼火焚き	概要　適用

yz002003001 新岳を望む本村の海岸で燃え盛る鬼火焚き

yz002002002
海岸に人々が参集

yz001001003
点火を待つ

yz001001004
鬼の絵も燃やす(2011 年)

yz001001005
午後 5 時に点火

yz001001006
鬼火焚きが燃え上がる

yz001001007
本村港が見える(2014 年)

【概要】

・「鬼火焚き」は、正月 7 日に行う火祭り。竹が勢いよくはじける音で鬼（厄・災難・病気）を退治し、また火の中に門松や昨年一年間家に貼っていたお札やお守りなどを投げ込んで、災難がなかった事を感謝する行事。

・以前は、早朝の日が昇る前に砂浜で行っていたそうだが、今は夕方、日が暮れてから行っている。

・残り火で飾り餅を焼いて食べるのが恒例。

・現在は、本村集落の海岸で行っている。

【写真】

yz002003001)新岳を望む本村の海岸で燃え盛る鬼火焚き
yz002003002)鬼火焚きに集まった島民
yz002003003)午後 5 時の点火を待つ
yz002003004)子供達が描いた鬼(2011 年の例)も掲げて準備ができた
yz002003005)午後 5 時に点火される
yz002003006) 勢いよく火が上がり竹が爆ぜる音が聞こえる
yz002003007)本村港が後ろに見える(2014 年)
yz002003008)鬼火焚きの様子(2013 年)
yz002003009)残り火で餅を焼く
yz002003010)焼いた餅を食べる子供達(2013 年)

yz001001008

鬼火焚き(2013 年)

yz001001009

残り火で餅を焼く

yz001001010

餅を食べる(2013 年)